

# 京都シアワセ運ぶ情報誌の 555 2016年 7月 福祉

Contents

- 京都府社会福祉協議会事業・決算報告
  - 病気になっても、ひとりじゃない
- 平成28年 熊本地震における被災地支援  
夢中！熱中！ふくしびと



**もてな** **さ** ▼この4月より事務局長として仕事をさせていただいている。みなさまへのご挨拶が行き届いていない失礼をお詫び申し上げるとともに、ご指導のほどお願い申し上げます▼さて、事務局長初日のお昼前、警報音とともに「強い揺れに備えてください」との緊急地震速報が流れた。京都は震度3であったが、何もできずただオロオロするだけだった▼それから半月後、熊本・大分を中心として2度の大地震と1500回を超える余震に見舞われる災害が発生した。亡くなられた方のご冥福をお祈りするとともに、被害に遭われたみなさまにお見舞い申し上げる▼震度3の揺れでも動揺するのだから、熊本や大分の方々は、私の想像の及ばないほど怖い思いをされたことだろう▼本会では京都府、市町村社協連合会、京都府災害時要配慮者避難支援センター、京都府災害ボランティアセンター等と連携・協働して支援活動を展開してきた。第4次中期計画では「被災者・被災地の思いに添った災害支援活動の推進を掲げているが、その目標のとおり、私たちの活動は熊本や大分の人たちに寄り添うことができていくのかを自問する毎日もあった▼熊本・西原村での活動から帰ってきた本会職員が「初めて熊本に行ったが、皆やさしく、景色は雄大だった。今度は旅行で訪れたい」と話してくれた。熊本・大分のみなさまの暮らしが一日も早く戻ることを切に願っている。(T・T)

# 京都府社会福祉協議会 事業・決算報告

京都府社会福祉協議会では、「第4次中期計画」に掲げる5つのアクションプランに基づき、平成27年度の事業を実施しました。中期計画における重点事業を中心に、その概要と特徴をご報告します。

## 1 「生活に困窮する人の自立支援」と「社会的孤立を防ぐ取り組み」の一体的な推進

- ①生活福祉資金の取り組み
  - ①貸付相談の状況
    - 総決定件数2474件、総決定額8億3582万7354円
    - 教育支援資金が10年連続で増加。
    - ②償還相談の状況
      - 償還実績額 5億7013万6769円、現年度償還率 73・6%（H26：71・4%）
  - ②生活困窮者支援の取り組み
    - ①生活困窮者支援制度を利用した貸付172件
    - ②市町村社協が実施する家計相談支援事業による貸付 3件
    - ③家計相談支援事業未実施市区町村で京都府社協が家計相談支援を実施11件
- ③地域福祉権利擁護事業の取り組み
  - ①利用状況
    - 新規利用者数184人、実利用者740人、延べ利用者数1633人
    - 人口10万人あたりの実利用者数は、全国67府県・指定都市で13番目。
  - ④絆ネットと福祉のまちづくり
    - ①絆ネットづくり
      - 絆ネット実施社協 12社協
      - 絆ネット構築支援事業 8社協
      - 住民相互の生活支援活動 14社協
      - サロン活動 1235か所
      - 小地域福祉活動 21社協

②地域における見守り活動の支援  
京都府補助事業により、411団体に962万円を助成。

在り資格者等の確保・定着

就職面接会(独自) 2回、52法人、168人

職場面接会(ハローワークと連携) 10回、49法人、194人

②仕事理解促進チーム(小中高の学生に対する福祉職の理解促進)

次世代担い手育成事業 4校

次世代担い手育成事業合同発表会 273人

高校出前講座 6校

高校生インターンシップ 2校

③福祉職場従事者の処遇改善・スキルアップ支援事業の展開

延べ234事業所に対し、8961万円

## 4 「防災・減災のまちづくり」と「被災者・被災地の思いに添った災害支援活動」の推進

- ①連携・協働の場としての常設型災害ボランティアセンター設置  
京都府内の全市町村で常設型災害ボランティアセンターを設置
- ②災害時における要配慮者支援活動の推進
  - ①市町村社協における要配慮者支援の取り組みについてのアンケート調査を実施。
  - ②京都府災害時要配慮者避難支援センターが開催する研修等で連携・協働を図った。

## 5 幅広い協働による事業の展開

- ①広域の中間支援団体としての多様な機関との協働による取り組み
- ②京都府域の権利擁護・成年後見制度のあり方に関する検討委員会(仮称)準備会を開催
- ③京都府民生児童委員協議会、京都府

## 2 社会福祉法人の連携・協働の促進と福祉サービスの質の向上

- ①京都地域福祉創生事業(わかっプロジエクト)
  - ①京都府内 20法人の参画(平成27年度新規11法人)
  - ②参画法人による取り組み  
宇治市 保育園で育児中の母親の交流・孤立を防ぐ場、子どもとの交流機会を提供(56回、3402人参加)
  - 亀岡市 デイサービスのスペースを子どもや保護者等の居場所に提供(1回、19人参加)
- ②福祉サービス利用者の権利擁護(京都府福祉サービス運営適正化委員会)問合せ・相談件数327件(前年比39%増)  
苦情対応件数 186件(前年比29%増)
- ③京都介護・福祉サービス第三者評価等支援機構との連携
  - ①実施状況
  - ②介護サービス分野199件、福祉サービス分野69件
  - ③10周年記念シンポジウムの開催140人の参加

## 3 福祉・介護人材の確保・定着・育成のための総合的な事業の推進

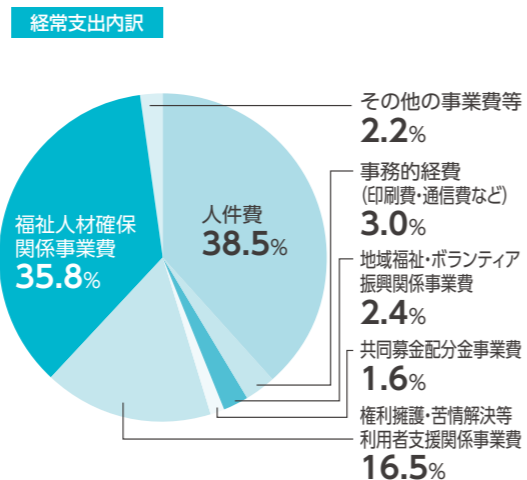
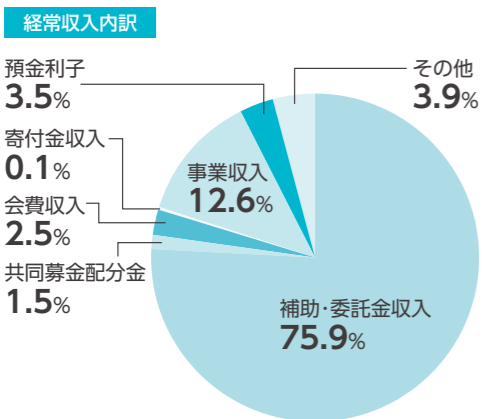
- ①福祉人材マッチング事業(無料職業紹介事業を中核とした総合的な対策)
  - ①マッチング支援事業
    - ①新規相談者 実績 2777人 H27目標 2700人
    - ②延べ相談者 4693人 3700人
    - ③就職内定者 359人 350人
    - ④求人開拓件数 129件 100件
  - ②潜在有資格者
    - ①新規登録者 実績 525人 H27目標 500人
    - ②就職内定者 82人 80人
- ②きょうと介護・福祉ジョブネットの運営
  - ①人材確保・定着チーム(中途人材、潜在)
  - ②就職フェア
    - ①新規登録者 実績 384人 H27目標 700人
    - ②延べ相談者 1101人 800人
    - ③就職内定者 74人 75人
  - ④就職フェア
    - ①地域参加者数 20人
    - ②全域参加者数 196人 200人
    - ③就職内定者 190人 1200人
    - ④参加者数 838人 H27目標 600人

- 共同募金会をはじめ、社会福祉関係団体との連携を強化。
- ④市町村社協連合会、社会福祉法人経営者協議会等の団体事務局を受託。
- ⑤京都CSR推進協議会へ参画。
- ②府内の福祉活動をまとめ発信する取り組み(機関紙「京都の福祉」)
- ①第4次中期計画の事業展開の柱に基づきテーマで特集を企画。
- ②「絆ネット」の役割・価値を発信する連載を開始。

### 平成27年度決算の概況(一般会計)

経常収入	決算額	経常支出	決算額
補助・委託金収入	449,164,056	人件費	220,887,055
共同募金配分金	8,830,000	地域福祉・ボランティア振興関係事業費	13,705,978
会費収入	14,537,800	事務的経費(印刷費・通信費など)	17,235,638
寄付金収入	610,136	共同募金配分金事業費	9,248,631
事業収入	74,881,856	権利擁護・苦情解決等利用者支援関係事業費	94,557,000
預金利子	20,923,553	福祉人材確保関係事業費	205,059,845
その他	23,015,888	その他の事業費等	12,840,913
総計	591,963,289	総計	573,535,060

※民間社会福祉施設整備資金にかかる収支を除く実質的な収支





# 病気になっても、ひとりじゃない

## 誰にも話せない難病患者の不安な気持ちに寄り添う

もし、突然難病だと診断されたら、どんな思いになるでしょうか。病気のことやこれからの生活に悩み、一人で不安な思いを抱え込むかもしれません。難病を抱える方の暮らしは、その症状や進行の状況によって大きく異なり、患者を孤立させることにつながるといわれています。今回は、特定非営利活動法人京都難病連（以下、京都難病連）での相談活動を通じて、「病気であっても安心して暮らすこと」を支えることについて考えていきます。

### ひとりで悩まないで

つながることで支えられる  
難病患者の相談活動を通じて



京都難病連は、「ひとりぼっちの難病患者をなくそう」をスローガンに昭和49年に結成され、患者会の特徴をいかした難病相談事業や、難病に対する医療的な学習の場の提供、患者会の活動支援などを行っています。特に、相談活動では「何か所もの医療機関で診てもらったが診断がつかなかった」、「同じ病気の方たちどのように生活されているのか」、「これから先どうやっていくのが不安だ」といった声に対し、専門職（医師、看護師、社会福祉士等）による専門相談や当事者同士によるピア相談などにより丁寧に難病患者、家族の生活の不安に寄り添っています。

### 病気になったばかりの人の不安や思いを受け止める



事務局員であり、自身も難病を抱えながらピア相談員をされておられるTさんとFさん。日常相談の電話を受けることについて、Tさんは、「電話をかけてこられる方は、病気になって間がない方。とにかく話がしたくて、思いを伝えたくて...という方が多い。受け手としては、不安を抱えておられる方に少しでもその思いを軽減していきたいという気持ちでかかわっている」と言われます。突然難病と言われることで、今までの将来設計

とのギャップとジレンマを感じ、実際、電話口で誰にも言えない悩みを「やっと話せた」と涙されることも多く、不安や心配が

あるときに、連絡したら聞いてもらえる場がある、仲間がいるということが、大きな支えや生きる力になっています。

### 一人ひとりの悩みに寄り添い続ける



平成27年度の相談総数は513件。病気、治療・療養に対する相談や仕事や経済的な悩みを多く抱えておられる実態があります。患者本人だけではなく、家族からの相談も多く家族が抱える悩みや不安への支援も大きな課題となっています。近年では、インターネットなどから情報を得る方も多くあり、自分でいろいろと調べられる方も増えてきていますが、難病は、

その病名があってもその進行段階や病気の重複など、症状や状況によって、全く異なります。「どこでなら聞いてもらえる」という相談の場がなく、発病後、やっとしんどさが収まって、やっと行動を起こそうとしても行き場がなかった」とFさんは自身のことを振り返り、京都難病連の紹介で患者会につながる事ができたと話します。京都難病連では、15の患者会

の活動支援や病気ごとによりきめ細やかな生活の相談などに対応できるようにピア相談会を行っています。しかし、寝たきりであったり、外に出ることができないという方もたくさんおられ、相談会や医療講演会に来られる方は一部の方に限られています。確かに医療費助成対象疾病が増えたことや、障害者総合支援法によって、障害者の範囲に難病等の方々が加わり、ホームヘルプサービスやショートステイなど障害者福祉サービスが利用できるように改善されています。しかし就労の支援など、まだまだ難病患者が安心して地域で生活するには支援は整っていない状況があります。

また、難病ということについて、周りに言えない人も多く、いざというときに「助けて」と言えず、さらに困難な状況に陥ってしまうことがあるといえます。「見えない」、「言えない」ことで抱える生きづらさがさらにストレスとなり、病状が悪化につながっていることも多くあるようです。「病気になったときには、迷惑をかけるばかりだと思いがちな自分たちも今、辛い思いを乗り越えた。病気と生きていくしかない。同じような思いをされている方もたくさんおられるのでは。そこに寄り添いたい」と当事者として、生活の中で何が困っているかわかっているからこそ、一つひとつの相談に向き合い寄り添っていききたいとTさんは言います。

特定非営利活動法人 京都難病連  
〒602-8143 京都市上京区堀川通丸太町下ル 京都社会福祉会館4階  
電話・FAX：075-822-2691 月～金（土日祝休み）10:00～17:00  
日常相談（無料） ※医療相談は予約制

平成27年1月から施行された「難病患者に対する医療等に関する法律」（難病法）において、難病患者の療養生活の環境整備に関して、「難病は患者数が少なく、その多様性のために他者から理解が得られにくいほか、療養が長期に及ぶ

### 情報提供や支えあい活動を支援

こと等により難病患者の生活上の不安が大きいことをふまえ、難病患者が住み慣れた地域において安心して暮らすことができるよう難病の患者を多方面から支えるネットワークの構築を図

る」こととされています。京都府では医療、介護、福祉が連携する支援体制の構築に向けて京都府難病対策協議会が立ち上げられ、本会も参加しています。また京都府の委託を受けて難病患者等のホームヘルパー養成研修を毎年開催しています。病気があっても安心して暮らせる地域づくりのために、本会としても適切な情報提供や当事者同士の支えあい活動の支援なども考えていきます。

### 京都府難病情報ガイドブック

この冊子は、これまでの相談活動での声から、困ったときの相談先や利用できる医療助成や介護サービス等制度を取りまとめたものです。法制化を受け内容を改定し、平成28年3月に発行されました。



夢中! 熱中!  
ふくしびと

だから続けたい この仕事

福祉の現場で働く人たちの熱い思い・メッセージを伝えるコーナーです。京都府内で“熱い福祉”を“夢中”で実践している方々にスポットをあてて、元氣や楽しさ、やりがいを“生”の声でお届けします。

上田 智康さん うえだ ともやす

施設名 社会福祉法人綾部市社会福祉協議会  
〒623-0012 京都府綾部市川糸町  
南古屋敷5-1 (綾部市福祉ホール内)  
HP/URL : <http://ayabe-shakyo.or.jp/>  
TEL.0773-43-2881 FAX.0773-43-2882  
職種: 主事(地域福祉係) 経験年数: 8年  
★好きな言葉: フットワーク軽く  
★夢中になっている事: 読書(ミステリー、歴史、宇宙等)、iPadの色々なアプリを試すこと



地域の方や職場の仲間と喜びを共有するとき  
やりがいを感じます

★仕事を始めたきっかけは?  
私は学生時代から福祉職を目指していたのではなく、今の職場で初めて福祉に携わることになりました。ヘルパーやケアマネジャーなど職種も年齢も様々な職員と一緒に働いていることに魅力を感じました。

★仕事の内容とやりがいは?  
4年前に地域福祉係に異動し、現在は耳のこと相談や障がい児家族交流事業など様々な当事者と一緒に事業に取り組むことが多いです。

★今後の目標(抱負)は?  
色々な相談を受ける際に、別の人が対応した方が、もっと深く聴き取り広域的に助言できるのではないかと、歯がゆく思うことが多々あります。入職10年目を迎えるまでに、もっと一人前の相談対応ができるようになりたいです。

新しく始まった「くつろぎ移動足湯事業」では、地域の集いに出向いて足湯を行っています。事業目的は、孤立しがちな人の外出のきっかけづくりと介護・福祉の相談を行うことです。出前先の団体の方と現地を下見し、「町内のひとり暮らしの方へ参加を呼びかけよう」等の目標を設定し当日を迎えます。

足だけの混浴が大変盛り上がり会話が弾みます。認知症のある80代の方からこんなきれいな足を見せてもらって長生きしてよかった〜、その奥様から「主人は明日になれば今日の記憶はなくなっています。心地よさは残ると思いますが、こつした声を聞いた時にこの仕事をよかったです」と



平成28年 熊本地震における被災地支援

本会では、4月14日・16日の熊本県を中心とした地震により甚大な被害が発生したことを受けて、各関係機関と連携し本格的な支援に取り組んでいます。

災害ボランティアセンターへの支援活動

熊本県西原村災害ボランティアセンターの運営支援として、4月27日から6月23日まで本会及び府内市町村社協から23名の職員が支援にあたりました。近プロ社協派遣

京都府要配慮者避難支援センターによる支援活動

また、京都府災害時要配慮者避難支援センター(事務局:京都府・京都府社協)の取り組みとして、災害派遣福祉チーム(DWAT)の派遣を5月13日〜5月31日まで行い、益城町の避難所における福祉相談支援等を

京都府災害ボランティアセンターによる支援活動

京都府災害ボランティアセンター(事務局:京都府社協)では、センター加盟団体と連携し、阿蘇市災害ボランティアセンターへ資機材を搬送するとともに、同センターへのボランティアバスの運行(5月13日(金)〜16日(月)、5月20日(金)〜23日(月)計59名)し、ボランティア活動を行いました。被災された方が抱える困り事や元の暮らし

生活福祉資金緊急小口資金特例貸付にかかる支援活動

熊本県益城町社協の貸付業務支援活動として5月8日〜5月13日まで、熊本市社協の貸付業務支援活動として6月13日〜6月17日まで、本会及び府内市区町村社協から5名の職員を派遣し支援にあたりました。地元での窓口開設が難しかった益城町は、当初御船保健所(御船町)で窓口を開設し受付業務を行いました。熊本市では当初

チームは、地元社協の要請に基づき、熊本県内の社協職員等と協働して、全世帯を対象とした生活課題のニーズ調査を展開しています。

行ってきました。災害派遣福祉チームは、京都府内の社会福祉士、介護福祉士、介護支援専門員等の福祉専門職からなるチームで、福祉の視点をいかに被災された方の生活課題に向き合っています。

しを取り戻すスピードは、一人ひとり異なります。ボランティアによる支援は、そんな一人ひとりに寄り添うことが出来る大切な活動です。京都府災害ボランティアセンターでは、「今、京都からできる支援」の1つとして熊本地震に関する災害ボランティア活動をサポートするための募金を呼びかけています。

は市内3か所で特設窓口を設けていますが、派遣時には窓口は1か所となっております。申請者の生活状況を聞き取りながら受付業務を行いました。

本会では関係機関と連携し、被災者・被災地の思いに沿った災害支援活動を引き続き行っています。

熊本地震災害ボランティア活動サポート募金の呼びかけ

- この募金の使い道
- ①被災地の災害ボランティアセンターの運営をサポートする支援金として
  - ②京都府内のNPO・ボランティア団体等が行う支援活動をサポートする支援金として
  - ③京都府災害ボランティアセンターが行う支援活動の資金として
- ※被災された方への義援金とは異なりますのでご注意ください。
- 募金口座
- 京都銀行 府庁前支店 普通預金 口座 4158392  
名 義: 京都府災害ボランティアセンター  
被災地サポート募金 代表 宮本 隆司  
フリガナ: キョウトフサイガイボランティアセンターヒサイチサポートポキン ダイヒョウミヤモトタカシ
- 募集期間 平成28年7月末日まで



※募金箱の設置、広報誌やホームページでの情報提供にご協力をお願いします! 必要な場合、右のロゴデータが提供可能です

# 京都府社会福祉協議会 からのお知らせ

案内

## 第19回(平成28年度)京都府介護支援 専門員実務研修受講試験について のお知らせ

【試験日・会場】

●日時 10月2日(日) 10:00～12:00

●会場 立命館大学 衣笠キャンパス

【試験案内(申込書)の配布】

●5月27日(金)から7月11日(月)まで

●市区町村役場(介護保険担当課)、府広域振興局、保健所等で配布

【受験申込受付期間】

●6月27日(月)から7月11日(月)まで(消印有効)

●所定の封筒を使用した「簡易書留」での郵送による申込みのみ

【受験手数料】 ●7,700円

【問い合わせ先】

京都府社会福祉協議会 介護支援専門員実務研修受講試験室

TEL.075-254-3844 (土曜・日曜・祝日を除く午前9時から午後5時まで)

## 平成28年度 介護支援専門員(ケアマネジャー)実務研修受講試験のための受験対策講座

●日程 7月2日(土)、16日(土)、8月6日(土)、20日(土)、9月10日(土)

●時間 10:00～16:30 (7月2日のみ9:50～)

●会場 7月2、16日→キャンパスプラザ 8月6、20日、9月10日→同志社大学 今出川キャンパス

●受講料 1日につき7,000円

●指導講師 伊東利洋氏 (有)いとう総研 取締役

●テキスト ケアマネジャー試験確実合格指南書16年版

開催要綱は、市区町村役場(介護保険担当課)、ハートピア京都等で配布しています。

http://www.kyoshakyo.or.jp/event/post\_32.html

## 社会福祉士受験対策セミナー スタートダッシュ

●日時 7月17日(日) 10:00～16:30

●会場 キャンパスプラザ

●受講料 7,000円

●指導講師 伊東利洋氏

(有)いとう総研 取締役  
ホームページからお申込みいただけます。  
http://www.kyoshakyo.or.jp/event/28.html  
京都府福祉人材・研修センター研修課  
TEL.075-252-6296

## 就職面接会を開催します!

介護や保育の仕事をしたい方、就職のチャンスです。ぜひご参加ください!

### ①介護・福祉職場 就職面接会

●日時 7月19日(火) 14:30～18:30

●会場 ハートピア京都 (地下鉄「丸太町」駅下車)

●対象 福祉職場への就職を希望する一般・学生(来年3月卒業予定)の方

### ②保育園 就職面接会

●日時 8月3日(水) 13:00～16:00

●会場 ハートピア京都 (地下鉄「丸太町」駅下車)

●対象 保育園への就職を希望する一般・学生(来年3月卒業予定)の方

京都府福祉人材・研修センター福祉人材課  
TEL.075-252-6297

●本会へのご意見等は、下記URLの「お問合せフォーム」を通じてお寄せください。

http://www.kyoshakyo.or.jp

京都府社協

検索



本紙は、共同募金の配分金によってつくられています。

平成28年度  
社会福祉施設  
総合損害補償

# しせつの損害補償

インターネットで保険料試算できます

ぶくしの保険

検索

老人福祉施設、障害者支援施設、児童福祉施設の

## 事故・紛争円満解決のために!

### プラン1 施設業務の補償 (賠償責任保険、動産総合保険)

#### ① 基本補償(賠償・見舞)

▶補償金額		基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)
賠償事故	対人賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円
	対物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
	うち現金補償限度額(期間中)	20万円	20万円
	人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
お見舞い等	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
	事故対応特別費用(期間中)	500万円	500万円
	被害者対応費用(1名につき)	死亡10万円 後遺障害0.3~10万円 入院時3万円 通院時1万円 (1事故で10万円限度)	死亡10万円 後遺障害0.3~10万円 入院時3万円 通院時1万円 (1事故で10万円限度)
	傷害見舞費用		死亡時100万円 入院時1.5~7万円 通院時1~3.5万円

保険期間1年

▶年額保険料(掛金)		定員	基本補償(A型)
補償本(A型)	1~50名		35,000~61,460円
	51~100名		68,270~97,000円
	以降1名~10名増ごと		1,500円
付見舞費用(B型)	基本補償(A型) 保険料		【見舞費用加算】 定員1名あたり 入所:1,300円 通所:1,390円

プラン2 施設利用者の補償

プラン3 施設職員の補償

プラン4 社会福祉法人役員の補償



です。

充実した補償と  
割安な保険料

スケールメリットを活かした

◆【28年度新設】使用者賠償責任補償(プラン3-①オプション)  
社会福祉法人役員の賠償責任補償(プラン4)

●この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約(「賠償責任保険」「普通傷害保険」「労働災害総合保険」「約定履行費用保険」「動産総合保険」)です。

●このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問い合わせは下記までお願いします。●

団体契約者 ▶ 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第三課 保険会社〉  
TEL: 03(3593)6824  
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

取扱代理店 ▶ 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763